

G A F 得点

_____点 (※文中の「症状」は精神的な不調・症状を指し、身体面での障害・症状は除きます)

過去1カ月間で一番状態が悪いときについて、精神的健康と病気という一つの仮想的な連続体にそって、心理的、社会的、職業的機能を考慮してください。身体的(または環境的)制約による機能の障害は含めないでください。また、たとえば、45、68、72のように、それが適切ならば、中間のコードを用いてください。症状の重症度と機能レベルの二つの側面から評価をします。

91 - 100 点から順に読み進めていき、その方の症状の重症度または機能レベルのどちらか悪いほうが当てはまる得点範囲(例：31-40 点)を決めてください。

100-91	広範囲の行動にわたって最高に機能しており、生活上の問題で手に負えないものは何もなく、その人の多数の長所があるために他の人々から求められている。症状は何もない。
90-81	症状がまったくないか、ほんの少しだけ(例：試験前の軽い不安)。すべての面でよい機能で、広範囲の活動に興味をもち参加し、社会的にはそつがなく、生活に大体満足し、日々のありふれた問題や心配以上のものはない(例：たまに家族と口論する)。
80-71	症状があったとしても、心理社会的ストレスに対する一過性で予期される反応である(例：家族と口論した後の集中困難)。社会的、職業的、または学校の機能にごくわずかな障害以上のものはない(例：一時的に学業に遅れをとる)。
70-61	いくつかの軽い症状がある(例：抑うつ気分と軽い不眠)。または社会的、職業的、または学校の機能にいくらかの困難はある(例：時にする休みをしたり、家の金を盗んだりする)が、全般的には機能はかなり良好であって、有意義な対人関係もある。
60-51	中程度の症状(例：感情が平板で、会話がまわりくどい、時にパニック発作がある)、または、社会的、職業的、または学校の機能における中程度の困難(例：友達が少ししかいない、仲間や仕事の同僚との葛藤)。
50-41	重大な症状(例：自殺念慮、強迫的儀式が重症、しょっちゅう万引する)、または社会的、職業的、または学校の機能におけるなんらかの深刻な障害(例：友達がいない、仕事が続かない)
40-31	現実検討かコミュニケーションにいくらかの欠陥(例：会話は時々非論理的、あいまい、または関係性がなくなる)。または、仕事や学校、家族関係、判断、思考、または気分など多くの面での重大な欠陥(例：抑うつ的な男が友人を避け、家族を無視し、仕事ができない。子供がしばしば年下の子供をなぐり、家庭では反抗的であり、学校では勉強ができない)
30-21	行動は妄想や幻覚に相当影響されている。またはコミュニケーションか判断に重要な欠陥がある(例：時々、滅裂、ひどく不適切にふるまう、自殺の考えにとらわれている)、またはほとんどすべての面で機能することができない(例：1日中床についている、仕事も家庭も友達もない)。
20-11	自己または他者を傷つける危険がかなりあるが(例：死をはっきりと予期することなしに自殺企図、しばしば暴力的になる、躁病性興奮)、または時には最低限の身の清潔維持ができない(例：大便をぬりたくる)、またはコミュニケーションに重大な欠陥(例：大部分滅裂か無言症)。
10-1	自己または他者を傷つける危険が続いている(例：暴力の繰り返し)、または最低限の身の清潔維持が持続的に不可能、または死をはっきり予測した重大な自殺行為
0	情報不十分